

「平和への思い」

渡慶次小学校 六年一組 大城 瑠衣斗

みなさんは「平和」をどう思いますか。

今でも世界の色々なところで戦争が行なわれていきます。七十三年前、沖縄県でも、第二次世界大戦で日本唯一の米軍との地上戦がありました。

沖縄戦では、約二十万人の人が亡くなり、そのうちの九万人が民間住民だったのです。

どうしてこんなに民間人が亡くなったのでしょうか。

その一番の原因は、軍隊が住民を守らなかったからです。

また、読谷村には、二つのがまがありました。チビチリがまとシムクがまです。

僕達は、実際にチビチリがまへ行きました。チビチリがまの前は、小さな川が流れており、湿度がとても高く、じめじめしていました。なので、戦争の時はこんな暑さの中生きていたと考えるとすごいなと思います。

かマの中へ入ると、おどろくほど外とはちがった空気で、とても重たく感じました。そこでは、知花さんというガイドの方がいろいろなことをお話してくださいました。そこでは、納百四十名の方がひなんしていったけれど、集団自決により八十五名の方が七くな^ってしまいました。当時はほりよになる^りと、耳を切られたり、鼻を切られたり、戦車でひき殺されるなど、まちがった教育をされていたため、米に殺されるより、

自分達で死んだほうがましとって、ち^っそく死や、毒入り注射で死んでいき、八十
五名が七くな^ってしまいました。

僕は、その話を聞いて、「教育の仕方でごんなに命が無くなるんだな。」と思いました。

一方シムワがマでは、千人以上の方がひなんして一人も七くな^った方はいませんでした。なぜかという^はとハワイ帰りのひがさんかシムワがマにひなんして^いて英語がし^やべれたのです。かマの外にいる米軍と話をし、ほりよ

として数千人以上の方が助かっただのです。

僕は、まちがった教育をうけていない人が
がマの中にいるだけでこんな命が助かるん
だなと思いました。改めて教育のおそろしさ
と大切さを知りました。

僕は、チビチリがマに行つて、その場でみ
たがマや話などを、下級生に伝えていきたく
です。また、これからも戦争についても知っ
ていきたくです。